



#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	公共施設カルテの作成（2014年度） 利用状況の確認（2017年度）		庁内関係課との協議（複合元施設含む）
第2期	2022年度	庁内関係課との協議（複合元施設含む）	目標・取り組みを達成	庁内関係課との協議（複合元施設含む）
	2023年度	庁内関係課との協議（複合元施設含む）		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	488.92 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市保健センターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	市民の健康の保持及び増進を図るため、地域保健に関し必要な業務を行うとともに、市民の自主的な保健活動の場に資するため、大田市保健センター（以下「保健センター」という。）を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	891円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		891円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	800,690円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	525,674円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,326,364円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,325,473円	市民一人あたり税金充当額	-41円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,711円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3,631円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無							過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
	無	あり	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)		
年間利用人数			520	58		60	60	139	43%

※減少理由：2019年度：週1回利用していた子育てサロン解散のため  
2020年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業等中止のため

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津保健センター		No.	46
大分類	07保健・福祉施設			
小分類	保健施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	方針が決定していない為

担当部署名	健康福祉部健康増進課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	温泉津まちづくりセンター等との一体的施設であり、保健センター所管、主に施設を利用して放課後児童クラブの所管課との協議を要する施設である。 令和6年度より保健センターとしては廃止し、温泉津支所と統合することに決定している。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 公共施設カルテの作成（2014年度） 利用状況の確認（2017年度）		利用団体及び使用者数の把握ができた。
第2期	2022年度 放課後児童クラブに一部貸出し、建物の有効活用を図る。 庁内関係課との協議。	進捗していない	放課後児童クラブに一部貸出し、建物の有効活用を図ることができた。 温泉津保健センターの管理をしている温泉津支所のあり方（体制）の方針が決定されるのを受け、移転後の施設の再利用も含め、施設の方針を検討する必要がある。
	2023年度 放課後児童クラブに一部貸出し、建物の有効活用を図る。 庁内関係課との協議により、2024年度に、保健センターは廃止し、温泉津支所へ統合することとなった。		
	2024年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和56年
建物延面積	426.60 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	0.86
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、特別警戒区域に隣接

関連条例等	大田市保健センターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	市民の健康の保持及び増進を図るため、地域保健に関し必要な業務を行うとともに、市民の自主的な保健活動の場に資するため、大田市保健センター（以下「保健センター」という。）を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

##### 【施設の写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	20,302円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	29,362円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		49,664円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-49,664円	市民一人あたり税金充当額	-2円/人
	延床面積あたり税金充当額		-116円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-136円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	あり	※急増理由：2018年度：温泉津児童クラブたんぼぼ使用のため 減少理由：2020年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業等中止のため					
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	7030	9180	3549	3294	3091	5,228	59%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁摩町保健センター		No.	200
大分類	07保健・福祉施設			
小分類	保健施設			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	今後の方針が決定していない為

担当部署名	健康福祉部健康増進課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	仁摩町母子保健センターは、平成12年に仁摩保健センターと一体となっている。 温泉津保健センターは令和6年度に温泉津支所管理と決定となったこと、また、おおだ子育てにかかる総合支援拠点施設が予定されていることから、④統合と判断した。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
	移転後の施設の再利用							
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

#### 4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	公共施設カルテの作成（2014年度） 利用状況の確認（2017年度）		庁内関係課との協議（複合元施設含む）
第2期	2022年度	庁内関係課との協議（複合元施設含む）	目標・取り組みを達成	庁内関係課との協議（複合元施設含む）
	2023年度	庁内関係課との協議（複合元施設含む）		
	2024年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	308.92 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市保健センターの設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	市民の健康の保持及び増進を図るため、地域保健に関し必要な業務を行うとともに、市民の自主的な保健活動の場に資するため、大田市保健センター（以下「保健センター」という。）を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

##### 【施設の写真】





## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	891円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		891円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	820,292円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,369,424円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,189,716円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,188,825円	市民一人あたり税金充当額	-67円/人
	延床面積あたり税金充当額		-7,085円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-5,997円/日

## (3)利用人数

項目	貸館の有無	あり						※減少理由：2019年度：週1回利用していた子育てサロン解散のため 2020年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業等中止のため	
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)		
年間利用人数	520	58		60	60	139	43%		